



新時代へ躍り出そう

Sustainable AI
Blue Land
TOKUSHIMA

徳島バッテリーバレイ構想 関連施策の状況及び今後の進め方について

令和6年7月26日
経済産業部 企業支援課

目 次

1. 令和 6 年度県事業計画

2. 今後の進め方（骨子）

3. 主な論点

Chapter

01

令和 6 年度県事業計画

1. 令和6年度県事業計画

令和6年度徳島バッテリーバレイ構想予算 19,600千円(他補助金等関連予算1,786,539千円)を計上し、構想の4本柱に沿った施策を推進。策定会議での意見に応じた優先度が高くかつ対応可能な施策を展開。

施策概要

4本柱



徳島バッテリーバレイ構想

推進戦略 関連施策

① 補助金

● 補助金メニューの改正・新設



- 蓄電池サプライチェーンに属する企業を広く集積し、関連産業の裾野を広げるため、蓄電池関連企業を対象とした補助メニュー改正を行い、全国トップクラスの補助制度に拡充
- 蓄電池メーカー等の大規模投資に対する支援として上位枠を追加した他、サプライチェーンを下支えする事業者向けの補助メニューを新設

② 実態調査

● 県内サプライチェーン調査の実施



- 県内蓄電池関連産業の現状を正確に把握するため、その実態と県内外企業とのつながりを調査・整理

● 国内サプライチェーン調査の実施



- 県内蓄電池関連産業へ参入可能性のある企業の調査・整理

③ 蓄電池教育

● 企業誘致セミナーの開催



- 国内サプライチェーン調査の結果を踏まえ、首都圏で企業誘致セミナーを実施

● 県立高校での座学、実習の実施



- 関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの教育プログラムを県立高校に導入し、中期的な人材育成・確保につなげる

④ 県外発信

● 蓄電池産業PR広報ツール作成



- 県内蓄電池関連産業のポテンシャルを発信するため、動画・ポスター・リーフレットの広報ツールを作成

● 首都圏展示会への出展



- BATTERY JAPAN2024、エコプロ2024の大規模展示会に出展し、構想および県内蓄電池関連産業等を広く発信

● 蓄電池ビジネスセミナーの開催



- 県内企業の事業拡大を促進させるため、県内企業や県内へ立地を目指す企業を対象とした「業界セミナー」を開催

● 小学生「電池教室」の開催



- 次世代の人材育成として電池に関する出張授業をビジネスチャレンジメッセで実施

● ビジネスチャレンジメッセへの出展



- 県内蓄電池関連産業の県民の認知度向上や蓄電池の普及拡大を図る

● GX(グリーン・トランスフォーメーション)の加速



- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県民主役による脱炭素型ライフスタイルへの早期転換に資する「EV・蓄電池」導入支援策を創設。

⑤ 県内展示会

⑥ 蓄電池普及

蓄電池関連企業に特化した立地補助金メニュー

蓄電池サプライチェーンに属する企業を広く集積し、関連産業の裾野を広げるため、蓄電池関連企業を対象とした補助メニュー改正を行い、全国トップクラスの補助制度に拡充した。

企業立地補助制度（製造業）		＼ 新メニュー ／	
制度概要		その他製造業	蓄電池関連産業 (環境エネルギー関連産業)
県外企業の立地			
● 補助額最大 15 億円 補助率最大 20 %			
● 徳島県に初めて立地する場合は、 補助率を5%上乘せ 最大25%			
● 新規地元雇用 1 人につき70万円補助 （限度額6,000万円）			
● 1工場あたりの「通算限度額」 「補助回数」に制限なし			
※1 国等の他の補助制度と併用可			
		New! 2024年7月3日 メニュー改正	
		投下固定資産額	30億円以上
		新規地元雇用人数	50人以上
		補助率	20%
		補助限度額	15億円
		補助要件	敷地面積9,000㎡以上 又は 建築面積3,000㎡以上
			100億円以上
			100人以上
			20%
			30億円◎
			敷地面積9,000㎡以上 又は 建築面積3,000㎡以上
			※2 企業の投資規模に応じて新メニューの検討が可能

蓄電池サプライチェーン強化に向けた「2つのメニュー」

主な改正概要

改正の狙い

県内・県外企業の大規模投資から設備投資まで、幅広い投資に対応した **企業立地促進補助金制度**

Menu.1

環境・エネルギー関連産業立地促進事業

New!

	グレード1	グレード2	グレード3	グレード4
要件① 投資額	1億円以上	20億円以上	30億円以上	100億円以上
要件② 雇用	10人以上	20人以上	50人以上	100人以上
要件③ 面積	要	要	要	要
補助率	5%	10%	20%	20%
補助 限度額	5億円	10億円	15億円	30億円

Menu.2

蓄電池関連産業サプライチェーン強化事業

New!

	グレード1	グレード2	グレード3
要件① 投資額	2,000万円以上	5,000万円以上	2億円以上
要件② 雇用	3人以上	5人以上	10人以上
要件③ 面積	無し	無し	無し
補助率	15%※	20%※	20%※
補助 限度額	500万円	2,000万円※	1億円

※3年間の期間限定で +10%増率・+1,000万円増額
(表記は加算後の数字)

蓄電池サプライチェーン

限度額を倍増 !

蓄電池メーカー等の大規模投資を積極支援

補助適用
イメージ電池
メーカー電池素材の
サプライヤー

素材の製造設備メーカー

設備の部品メーカー …etc

雇用・面積緩和 !

サプライチェーンを下支えする事業者向けの支援

② 県内・国内サプライチェーン調査



蓄電池関連企業の集積に向けた基礎調査を実施

サプライチェーン構築に向けた企業誘致につなげるため、県内蓄電池関連産業の実態調査や県内企業の参入可能性を調査。さらに国内で誘致候補企業の調査や誘致セミナー等を実施する。

県内サプライチェーン調査

サプライチェーン調査

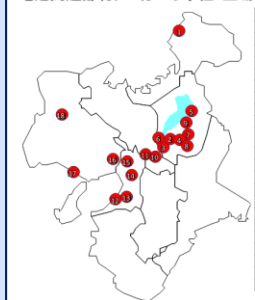
- 県内の蓄電池関連企業を調査、整理のほか、当該企業の県内外企業とのつながり(取引関係)を調査、整理

蓄電池関連産業への参入可能性調査

- 県内で活動する企業の技術優位性を踏まえ、蓄電池関連産業へ参入可能性のある企業を調査、整理

県内の
現状把握
潜在力把握

電池関連部材メーカーの本社・工場等拠点



完成イメージ

番号	名称	所在地	業種
1	(株) 田中化学研究所 徳島工場	徳島市	正統社
2	株式会社(株) 守山製造所	守山市	セーラー
3	パナソニック(株) アスファルトセンター 守山工場	守山市	電池製造
4	(株) UACI(株) 徳島製造所	徳島市	電池
5	(株) G&S アスファルト工場	徳島市	セーラー
6	新島化学工業(株)	大塚市	アスファルト材料
7	(株) エスエスエス 徳島工場	徳島市	電池材料・電池部品
8	徳島ユニテック(株) 徳島工場	徳島市	電池材料
9	(株) レンファク 徳島工場	徳島市	電池材料・電池部品
10	宇部アセチル(株) 徳島本社	大島町	セーラー
11	(株) 徳島製作所 本社	徳島市	電池製造
12	宇部アセチル(株) 徳島工場	徳島市	電池製造・セーラー
13	M&Pエレクトロニクス(株) 徳島工場	徳島市	電池製造
14	(株) 本島ソーダ 本社	大塚市	電池ソーダ
15	徳島電池(株) 徳島工場	徳島市	電池製造
16	徳島アスファルト(株)	徳島市	電池製造
17	徳島電池(株) 徳島工場	徳島市	電池製造
18	徳島電池(株) 徳島工場	徳島市	電池製造

特徴を
多角的分析

国内サプライチェーン調査

サプライチェーン調査

- 国内蓄電池関連産業の構造、動向、サプライチェーンを調査、整理のほか、当該企業のうち設備投資が有望な企業(誘致候補企業)を抽出
- 現況、設備投資の意向、抽出理由、取引企業等をまとめたレポートを作成
- 誘致候補企業の中から、徳島県への誘致可能性が見込まれる企業を選定し、当該企業と徳島県との面談等を実施

誘致セミナー

- 東京で県主催の誘致セミナーを開催。
- 誘致候補企業へのアプローチを実施。

魅力
優位性を
発信

県内への
産業集積

③ 県立高校での蓄電池教育の実施



関西のバッテリー教育プログラムを導入

関西蓄電池人材育成等コンソーシアムと連携し、座学及び実習等の蓄電池教育を実施。
県内の工業科を設置する高校及びSSH指定高校の全5校に導入する。

関西蓄電池人材育成等コンソーシアムへの参画

- ・ 四国の自治体では **初めての加入**
- ・ **蓄電池教育**の本格的なスタート

7/5
加入

バッテリー教育プログラムの導入

- ・ 関西蓄電池人材育成等コンソーシアムと連携し、**座学及び実習**を実施。7月11日からスタート
- ・ 東部、南部、西部の**県内全域**で展開
- ・ **工場見学**など、県独自プログラムも実施検討
- ・ **阿南高専**では3～5年生の授業で実施

県機関での実施校

5校

工業科設置高校：徳島科学技術(東部)、阿南光(南部)、つるぎ(西部)
SSH指定高校：(徳島科学技術(東部))、富岡西(南部)、脇町(西部)

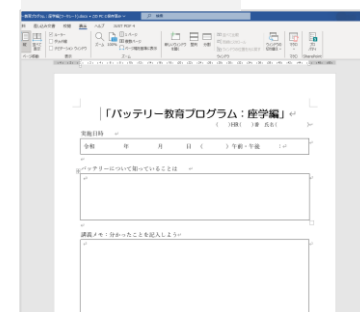
富岡西高校(7・11)と阿南高専(7・12)で実施

第1弾

実施の様子(富岡西高校)



ワークシートを使用



実施の様子(阿南高専)



動画教材を併用



動画教材(コンソーシアム共同事務局であるBASCのYouTubeチャンネルにて配信)

④ 広報ツール作成・大規模展示会への出展



広報ツールを活用した県内外での情報発信

県内蓄電池関連産業のポテンシャルを広く発信するため、動画・ポスター等の広報ツールを作成し、首都圏の大規模展示会等への出展や県内各所での広報を実施する。

蓄電池産業PR広報ツール作成

- 県内蓄電池関連産業のポテンシャルの発信と広報を兼ねた、誘致営業ツール・人材確保ツールを作成
- 動画、リーフレット及びポスターを作成

積極誘致
人材確保

首都圏展示会への出展

- 本県の立地環境や優遇制度等を発信し、企業立地に繋げる

BATTERY JAPAN

【対象】 二次電池の展示会
【日程】 令和6年10月2日～4日
【場所】 幕張メッセ

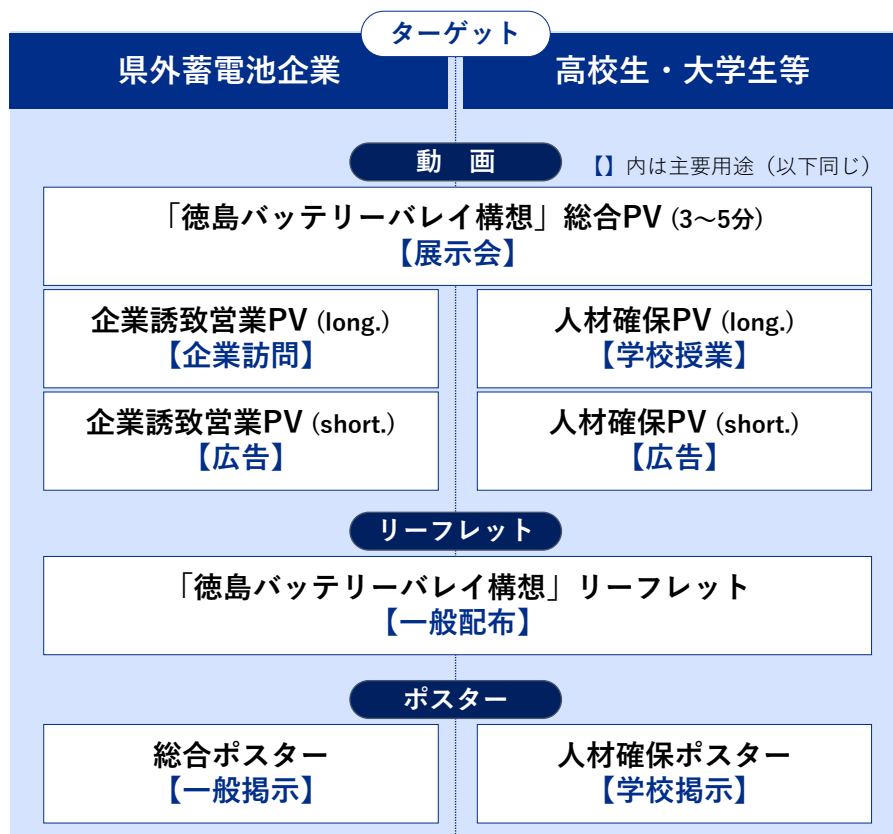


エコプロ2024

【対象】 環境等の社会課題解決展
【日程】 令和6年12月4日～6日
【場所】 東京ビッグサイト



企業誘致・人材確保ツール(制作イメージ)



⑤ 徳島ビジネスチャレンジメッセでの実施



県内企業の新規参入の促進と県内での機運醸成

11月7日～9日開催の徳島ビジネスチャレンジメッセにおいて、幅広い層へアプローチするため、ビジネス向け展示・セミナーのほか、県内小学生を対象とした電池教室を実施する。

蓄電池ビジネスセミナー

- (1) 日 時：令和6年11月8日（金）
- (2) 場 所：アスティとくしま
- (3) 目 的：① 蓄電池産業への新規参入の促進
② 蓄電池関連企業のマッチング機会の創出
- (4) 実 施：Battery Business Seminar (BASCと連携)
- (5) 参加者：県内企業、県内への進出を目指す企業

小学生「電池教室」

- ・ 県内の小学校2校の高学年生を対象に、ビジネスチャレンジに招待し、電池に関する出張授業とメッセ会場ツアー（展示場内）を、11月8日に開催

電池教室（予定）

- ・ 講 師：パナソニック エナジー株式会社様
- ・ 電池の学習：45分 ・ 手づくり電池教室：45分

バッテリーバレイ展

徳島バッテリーバレイ構想展示

- ・ 構想内容、企業紹介のパネル展示等

蓄電池関係展示

- ・ 蓄電池、充電設備、EVを含めたシステムの展示

ビジネスチャレンジメッセ

県内最大の総合見本市 3日間延べ約16,000人が来場！



⑥ GX（グリーントランスフォーメーション）の加速

徳島からはじまる、新時代の脱炭素移行戦略

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「徳島県GX推進計画」を新たに策定、県民主役による脱炭素型ライフスタイルへの早期転換に資する「EV・蓄電池」導入支援策を創設。

サステナブル社会推進課 所管事業

県有施設・自家消費型太陽光発電設備率先導入事業

- 県有施設に太陽光発電設備及び蓄電池を導入するため、PPA事業者に対し、整備費用の一部を支援

地域脱炭素移行・再エネ推進事業

- 太陽光発電設備、蓄電池の導入や住宅の省エネ性能の向上に取り組む県民に対し、購入費用の一部を支援

卒FIT対応・蓄電池導入促進事業

- 電力の地産地消による災害対応力強化等のため、固定価格買取制度（FIT）の買取期間が終了した県民に対し、家庭用蓄電池の購入費用の一部を支援

ZEV（ゼロ・エミッション・ヴィークル）導入事業費補助金

- EV（電気自動車）をはじめとするZEVやV2H（住宅用充放電設備）・V2L（外部給電器）を導入しようとする県民や事業者に対し、購入経費の一部を支援

補助制度

令和6年5月14日より
申請受付開始！

令和5年度
(補正) 徳島県ZEV・蓄電池等
導入事業費補助金
(物価高騰対応重点支援)



ZEV補助事業

県民及び県内事業者向け(※)

V2H・V2L
補助事業

県民及び県内事業者向け(※)



蓄電池補助事業

県民(卒FIT者)向け

※県内事業者は「中小企業等」に限る。

Chapter

02

今後の進め方（骨子）

2. 今後の進め方（骨子）

構想は施策の方向性を示したものであり、推進に向けた**施策の具体化**と**ロードマップの作成**が必要。
次回以降、「構想第4章 **推進戦略(方策)**」ごとのアクションプラン等を共有し、意見交換を予定。



構想実現
取組方針
(案)

2024-2030(7ヶ年)の前半期では、中長期的な計画で実施する「企業誘致」「蓄電池人材の育成」に重点的に取り組む。後半期には、施策の発展と進捗状況に応じたフォローアップを実施。施策検討にあたっては、構想の「推進戦略(方策)」を中心に置き、推進会議で議論。

Chapter

03

主な論点

3. 主な論点

次回、第2回推進会議(10月開催予定)において、以下の各**ポイントの具体化**に関する意見交換を予定。
本日は、自由なご意見をいただき、関連するご意見を、次回の議事資料(**県素案**)に反映。

次回の論点



ポイント1
今後の取組方針
(ロードマップ)

構想期間の前期-中期-後期の各段階で取り組むべきもの、
目指すべきものは何か。

視点) 「前半期で優先的に実施すべき取組」
「継続して長期間かけて実施すべき取組」



ポイント2
県施策

次年度の県事業として実施すべき施策は何か。

視点) 「ターゲット (ex.県内・県外事業者向け、小中学生向け 等)」
「実施施策 (ex.イベント、セミナー、補助金、・・・)」



ポイント3
連携した取組

行政、産業界、高等教育機関、金融機関で連携が可能な
取組は何か。

視点) 「行政を中心とした連携施策」 「産業界との連携施策」
「各界の既存事業を連携事業として発展が可能な取組」

…etc.

